

宮城県農業高等学校

GAPの取組の中でも特に食品安全に向けた対応を強く意識してASIAGAP認証取得に取り組み、令和3年2月に県内農業高校として同認証を初めて取得。

代表者名：峯岸 孝浩
所在地：宮城県名取市
認証：ASIAGAP(R3年)

面積：0.03ha
構成員：28名
品目：トマト

取組の紹介

【生産工程管理の改善に向けた取組】

- 残留農薬ゼロ、食中毒ゼロ、異物混入ゼロの食品安全の目標を掲げ、取組を実践。特に、生産物や販売用の袋の汚れ防止に取り組み、クレームゼロを実現。

【GAPの継続に向けた取組】

- 1年次からGAPをカリキュラムに取り入れて理解醸成を図るとともに、農場管理マニュアルと栽培管理手順書に沿った実習により、継続してGAPが取り組まれる仕組みを構築。

【人材育成活動】

- GAP審査への生徒による対応をはじめ、GAP認証農産物を活用した商品開発や差別化による販売方法等に関する学習を県内の食品加工会社と連携して行うなど、GAPを実践する次代のリーダー育成に貢献。

【地域の牽引役としての貢献】

- ASIAGAPの認定農場として、現地研修公開やGAP認証の審査公開に協力。県内のGAP指導者や他校の教職員の国際水準GAPに関する知識習得に貢献。



収穫されたGAP認証農産物



袋詰め前の手洗い



ASIAGAP取組の現地研修

ホームページ